



平成 20 年 8 月 14 日

各 位

東燃ゼネラル石油株式会社
東京都港区港南一丁目 8 番 15 号
代表取締役社長 鈴木 一夫
(コード番号: 東証第一部 5012)
問合せ先:
エクソンモービル有限会社
広報渉外部
Tel: 03-6713-4400

東燃ゼネラル石油(株) 平成 20 年 12 月期 業績予想修正に関するお知らせ

東燃ゼネラル石油株式会社は、平成 20 年 2 月 14 日に発表した平成 20 年 12 月期 (平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日)の連結および単体業績予想を以下の通り修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 平成 20 年 12 月期 (平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日)業績予想の修正

連結業績予想 :

(単位: 億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
今回修正予想 (A)	39,000	180	250	190
前回発表予想 (B)	35,000	510	520	320
増減額 (A-B)	4,000	▲330	▲270	▲130
増減率	11.4%	▲64.7%	▲51.9%	▲40.6%

(B)平成 20 年 2 月 14 日発表

単体業績予想：

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
今回修正予想 (A)	38,000	▲80	20	60
前回発表予想 (B)	34,000	280	310	200
増減額 (A-B)	4,000	▲360	▲290	▲140
増減率	11.8%	-	▲93.5%	▲70.0%

(B)平成20年2月14日発表

2. 修正の理由

平成20年12月期の連結営業利益は、前回の通期予想時と比較して330億円減少の180億円となる見込みです。減少の主な要因は、前回の上半期の予想利益と実績の差異を取り込んだことによります。下期の業績予想を行うにあたり、以下の点を想定しています。

- 7-12月期の石油製品マージンは、2月時点の前回予想時とほぼ同水準になると想定しています。
- 後入先出法による在庫評価の増益要因については、期末までに、その一部が解消されると想定しています。
- 7-12月期の石油化学部門の収益は、芳香族を中心に前回予想時よりもマージンが若干低下すると想定しています。

なお、1株あたり年間38円の配当見通しについては変更ありません。

以上